



# 本 荘 由 利

本荘由利広域市町村圏組合 〒015-0871 秋田県由利本荘市尾崎17番地 TEL 0184-23-2019 <http://www.chokai.ne.jp/honyuko/>

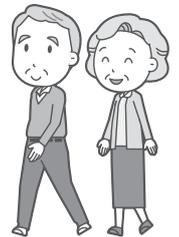


## ◆第7期介護保険事業計画を策定しました◆

平成30年度から32年度までを計画期間とする本計画は、介護保険サービスの利用見込み、サービス提供体制確保の方策など介護保険事業を運営していく上で必要となる事項を定めたものです。計画書は組合のホームページからダウンロードできるほか、介護保険担当窓口でも閲覧できます。(計画の概要は次頁をご覧ください)

## 65歳以上の方へ

介護保険料通知書を7月に発送します。保険料は本人や世帯の所得状況によって決まりますので、ご確認ください。



## ◆組合特別職・議会議員をお知らせします◆

本荘由利広域市町村圏組合規約の規定により、特別職として由利本荘市長が管理者に、にかほ市長が副管理者に選任されています。また、議会議員は2市議会の議長、由利本荘市の議会において選出された議員7名、にかほ市の議会において選出された議員3名の計12名で構成されています。

### 特別職

管理者	長谷部 誠	(由利本荘市長)
副管理者	市川 雄次	(にかほ市長)
代表監査委員	鈴木 祐悦	(識見委員)
監査委員	長 沼 久 利	(議員選出)

### 議会議員

議長	渡 部 聖 一	(由利本荘市議長)
議員	佐 藤 元	(にかほ市議長)
議員	佐々木 隆 一	(由利本荘市議員)
議員	佐々木 茂	(由利本荘市議員)
議員	三 浦 晃	(由利本荘市議員)
議員	佐 藤 義 之	(由利本荘市議員)
議員	長 沼 久 利	(由利本荘市議員)
議員	吉 田 朋 子	(由利本荘市議員)
議員	伊 藤 文 治	(由利本荘市議員)
議員	森 鉄 也	(にかほ市議員)
議員	佐々木 孝 二	(にかほ市議員)
議員	伊 東 温 子	(にかほ市議員)

## ■本荘由利圏域の人口・世帯数・面積■

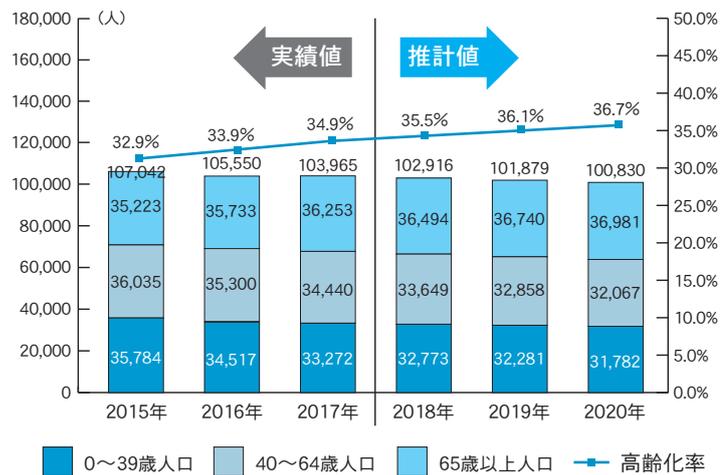
平成30年4月末現在

市 名	人 口	世 帯 数	面 積
由利本荘市	77,858人	30,635世帯	1,209km <sup>2</sup>
にかほ市	24,933人	9,406世帯	241km <sup>2</sup>
合 計	102,791人	40,041世帯	1,450km <sup>2</sup>

## 介護保険事業計画の策定にあたって

計画の策定には高齢者（65歳以上の方）の現状把握が不可欠であることから、昨年2月から6月にかけて、在宅介護実態調査及び介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施し、介護サービスのあり方と地域の抱える課題の把握に努めました。

また、「介護保険事業計画策定委員会」を設置し、様々な見地からの意見を聴取したほか、計画策定内容等に関し、パブリックコメントを実施することにより、圏域住民より広く意見を募集するとともに周知をはかりました。



## 介護サービス利用者の見込み

介護保険制度創設以来、老後の安心を支える仕組みとして実施されてきた介護保険制度ですが、利用者の増加に伴い、費用も急速に増大してきました。2025年には、いわゆる団塊世代のすべてが75歳以上となるなど高齢化の一層の進展が見込まれます。2017年9月末現在、由利本荘市とにかほ市をあわせた圏域の高齢化率は34.9%を示し、2020年には36.7%に達する見込みとなっています。

また、要支援・要介護認定者数は年々増加傾向にあり、2020年には2015年よりも143人増え、7,271人に達する見込みです。このうち8割を超える6,148人が介護サービスを利用すると見込んでいます。

●要支援・要介護別認定者数の推移

区分	← 第7期計画期間 →					
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
要支援	1,033	1,048	1,018	982	959	955
要介護	6,095	6,078	6,145	6,181	6,237	6,316
合計	7,128	7,126	7,163	7,163	7,196	7,271

## 介護サービス基盤の整備

在宅介護実態調査の実施により、要介護者が在宅生活を継続するにあたり、夜間の排泄ケア、認知症状への対応に不安を感じる介護者が多く、介護と仕事の両立を困難と感じている介護者は、日中・夜間の排泄、認知症状への対応、食事の準備に不安を感じている方が多いことがわかりました。このようなサービス利用の現状と今後の見込みを踏まえ、圏域のサービス供給体制、サービス拠点の整備を計画しています。

### ◇地域密着型サービス

要介護者が可能な限り、住み慣れた自宅で生活できるように、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の整備を計画します。

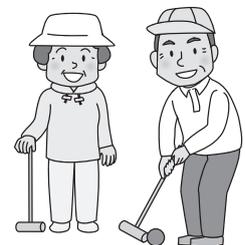
### ◇施設・居住系サービス

在宅生活が困難な方に住まいを提供するサービスとして、地域密着型介護老人福祉施設1事業所（29床）、地域密着型特定施設入居者生活介護1事業所（29床）、認知症対応型共同生活介護5ユニット（45床）の整備を計画し、介護者の介護と仕事の両立と、要介護者の住み慣れた地域での自立した生活を支援していきます。

## 高齢者の自立支援と介護予防に向けた取り組み

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施により、高齢者のリスクの発生状況として認知症、うつ、転倒、咀嚼機能、閉じこもりの各種リスクが高くなっていることがわかりました。まずは、閉じこもり傾向のある高齢者に外に出てもらい、様々な活動に参加してもらうことで、各種リスクの発生を減少させていく必要があると考えています。

高齢者が参加・活動する住民主体の「通いの場」に各種リスクを抱える高齢者、趣味等のサークルや地域づくりに参加意欲がある高齢者に参加していただき、参加した高齢者同士が支え合うことで、介護予防や日常生活上の支援体制の充実・強化と高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることが可能と考え、2020年までに「通いの場」を100か所創出することを目標に進めていきます。



## 平成30年度 介護保険料(65歳以上の方)について

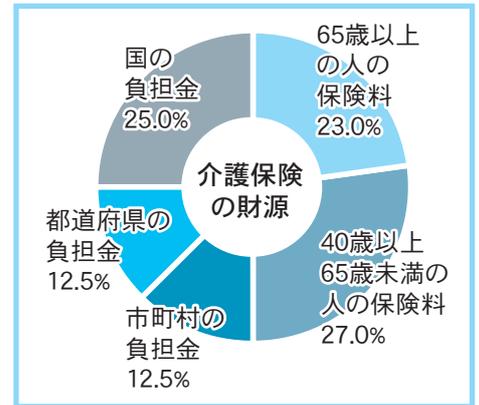
◇介護保険料の基準額は、平成29年度と変わりません。

▶年額75,367円(月額6,280円)

◇第7段階から第9段階のそれぞれの境目となる基準金額が、これまでの190万円及び290万円から200万円及び300万円に見直されます。

◇65歳以上の方の財源構成が22%から23%に見直されます。

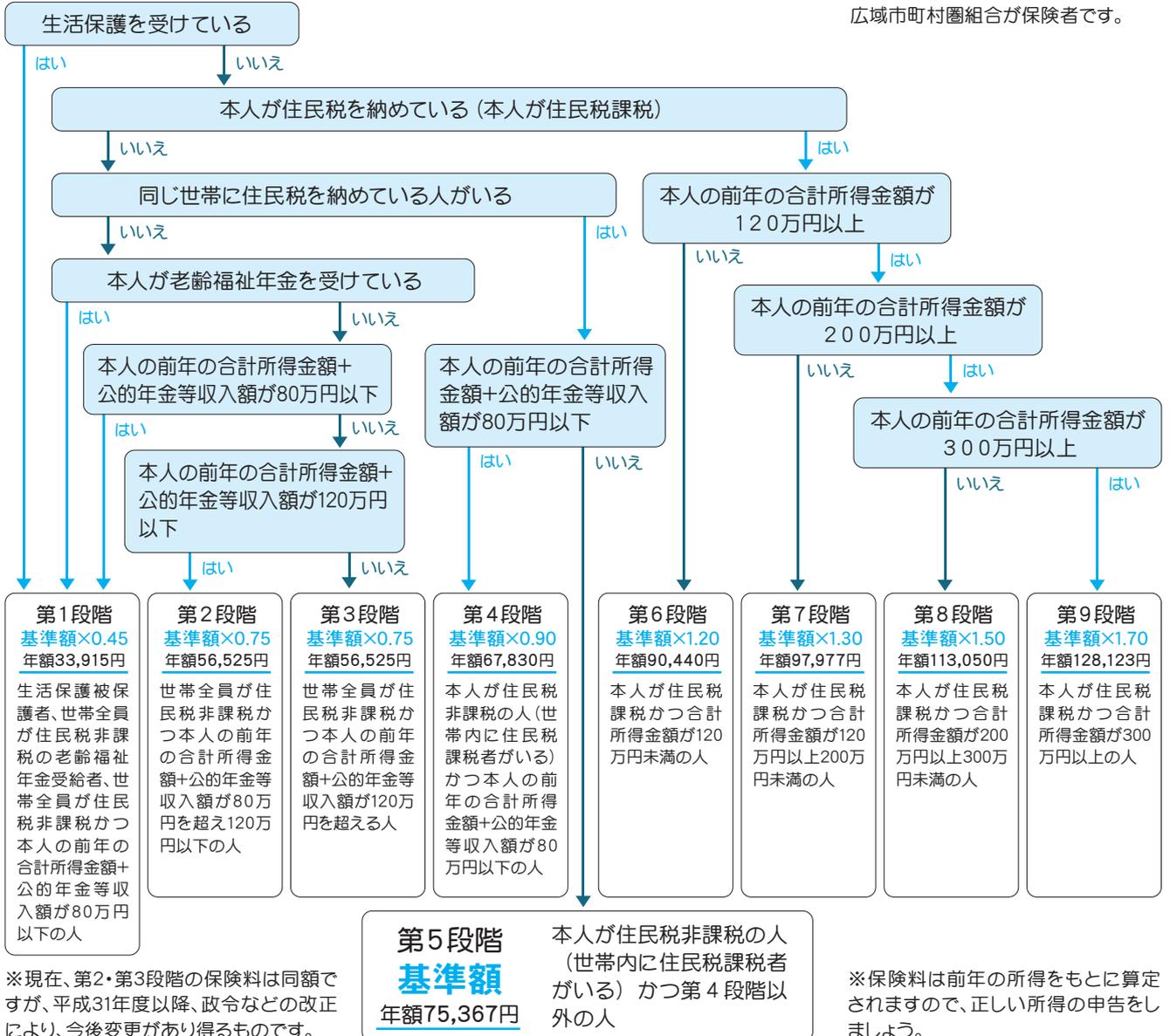
※右の円グラフの財源構成は、居宅給付費の負担割合です。



## 介護保険料の決まり方

65歳以上の方の介護保険料は、市区町村(保険者)によって決められた基準額をもとに、所得段階別の保険料が決められます。

### ○ あなたの介護保険料は?



介護保険に関する  
問い合わせ先

本荘由利広域市町村圏組合 介護保険課 TEL:0184-24-3347

ホームページ: <http://www.chokai.ne.jp/honyuko/>

本荘由利広域市町村圏組合

検索

(要介護認定の申請受付や各種申請の受付は、由利本荘市、にかほ市の介護保険担当窓口まで)

# 平成30年度当初予算

本荘由利広域市町村圏組合の予算は、一般会計と2つの特別会計からなっています。

## 一般会計

平成30年度の一般会計当初予算は9億8,500万円で、歳入は組合を構成している由利本荘市・にかほ市からの事業別の分担金及び負担金8億1,423万6千円が主な収入となっています。

歳出では、組合全般の管理事務などを行うための総務費1億8,425万3千円のほか、養護老人ホーム寿荘の管理運営や介護保険低所得者対策費などに充てられる民生費2億6,870万円、救急医療対策事業や家畜保冷施設、し尿処理施設、埋立施設などに充てられる衛生費4億7,022万5千円、地方債の償還に係る公債費5,988万9千円が主なものとなっています。

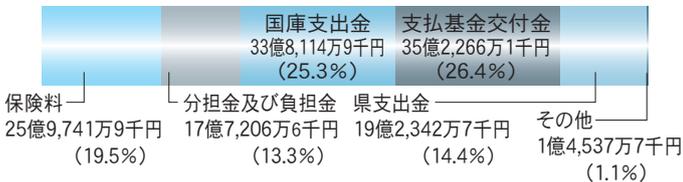
本荘由利広域行政センターの空調設備の更新工事や福祉授産施設の解体工事等により、前年度と比較して1億1,200万円(12.8%)の増となっています。



## 特別会計予算の内訳

▼介護保険特別会計 133億4,209万9千円  
【前年比 1億9,759万6千円、1.5%の増】

### ・歳入

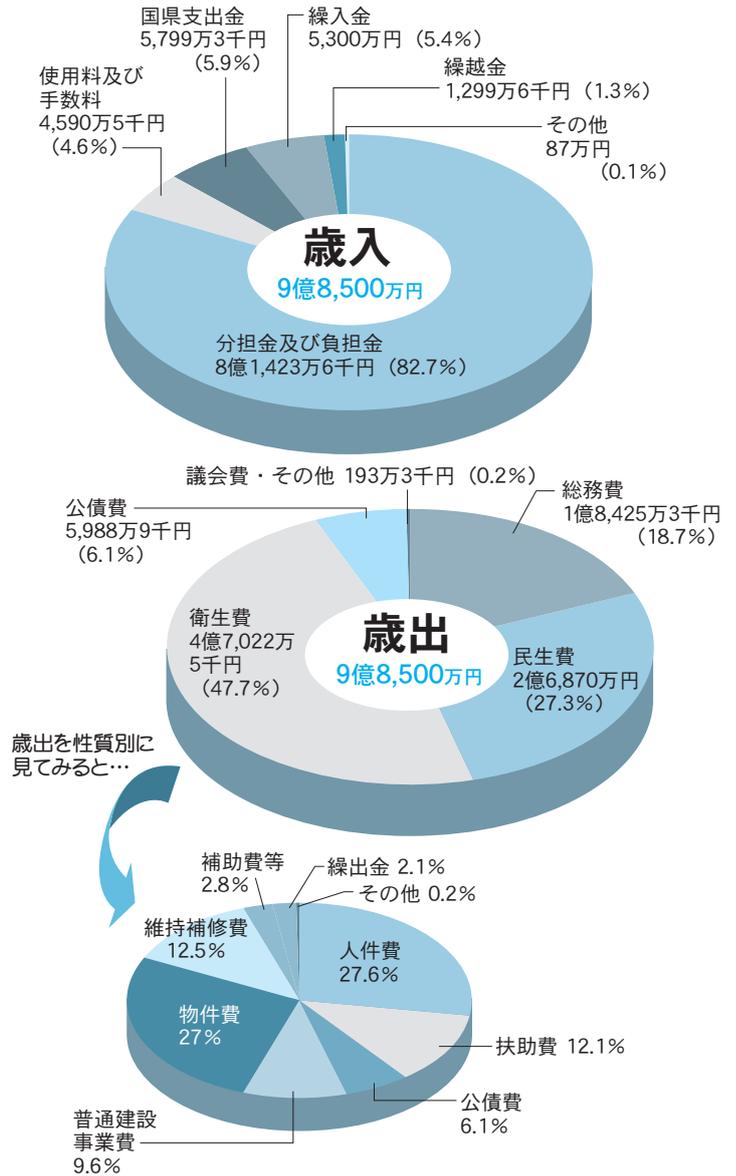


### ・歳出



▼特別養護老人ホーム特別会計 8,126万8千円  
【前年比 1,600万円、16.4%の減】

## 一般会計予算の内訳



## 特別会計

### 介護保険特別会計

介護保険給付費などを支払う特別会計です。歳入のうち保険料は第1号被保険者（65歳以上）の保険料で、支払基金交付金は第2号被保険者（40歳以上65歳未満）の保険料分であり、介護保険を運営するための大切な財源となっています。なお、保険料は地域の介護サービスに係る費用の総額に基づき算定されます。

### 特別養護老人ホーム特別会計

特別養護老人ホーム広洋苑は、平成28年度より指定管理者に移行となり、歳出は派遣職員の人件費や施設整備に係る起債償還などとなっています。

